

SEIWA

プロ用

【エコファインガン】

取扱説明書



EF-400



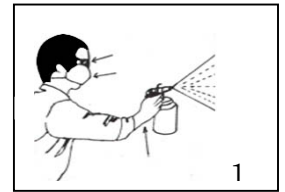
EF-200

取扱説明をよく読み、十分にご理解いただけるようお願い致します。
器機への損傷を防ぎ、使用者への万が一の事故を防ぐ上で安全上の指示に従って下さい。
製品仕様書にも注意願います

精和産業株式会社

【重要安全注意事項】

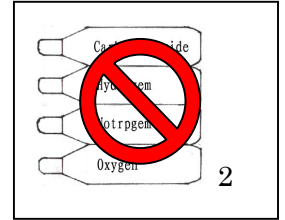
1. 塗料の溶剤によっては有害なガスが発生することがあります。これらをスプレーする際には身体に有害なガスを吸引することがあります。スプレー作業をする際には常にゴーグル、手袋、マスク等有毒な蒸気や、溶剤、又スプレーが目や肌に直接かからない装備をして下さい。（図1参照）



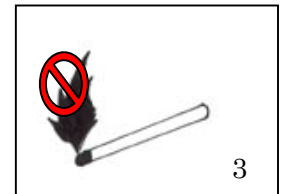
2. 酸素や可燃性ガス等を動力源として使わないで下さい。爆発の危険があります。

（図2参照）

3. 塗料や溶剤には大変燃えやすい可燃物が有ります。換気をしっかり取り、喫煙や裸火など火元になる物の近くでの作業は避けて下さい。（図3参照）

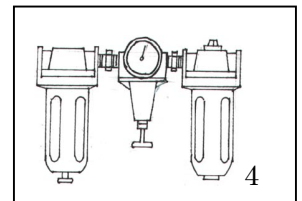


4. スプレーガンを使わない時や修理をする際には必ずエアースから外して作業をして下さい。緊急停止や不意の作動を避け安全性を上げるにはスプレーガンの手元にボールバルブの取り付けをお勧めします。



5. 圧力制御されたコンプレッサーからの乾燥した圧縮空気を使い、圧力設定は2.5～3.5 バール(kgf/cm²)でご使用ください。決して最大圧6 バール(kgf/cm²)を越えて使用しないで下さい。（図4参照）

6. メーカー指定の部品、ノズル、付属品以外は使わないで下さい。



7. 器機を使う前に、ビスに緩みが無いこと、キャップがしっかりと締まっていることを確認して下さい。

8. 引き金やノズルの動きを日常点検し、スムーズな動きを確認しておいて下さい。

9. アルミや亜鉛と反応し化学反応を起こしますので、ホモジネート炭化水素溶媒は使わないで下さい。

10. 決して改造しないで下さい。

【操作説明】

● 動力源

本機は混合物の無い、乾燥した圧縮空気の2.5～3.5 バール(kgf/cm²)圧で作動します。

圧縮空気には混合物が混入しやすく、それにより内部の錆や磨耗が進むことが有ります。

フィルターを使い、混合物を除くことにより、製品寿命を長く出来ます。オイラーを使い、適度にオイルを供給することにより、内部にオイルを循環させスムーズな作動を保つことが出来ます。フィルター、オイラー及び圧力レギュレーターを出来るだけ本機の近くに設置して下さい。

全てのエアース供給は2.5～3.5 バール(kgf/cm²)に調整してください。低すぎは塗装効率を低下し、高すぎは破損につながる恐れがあります。



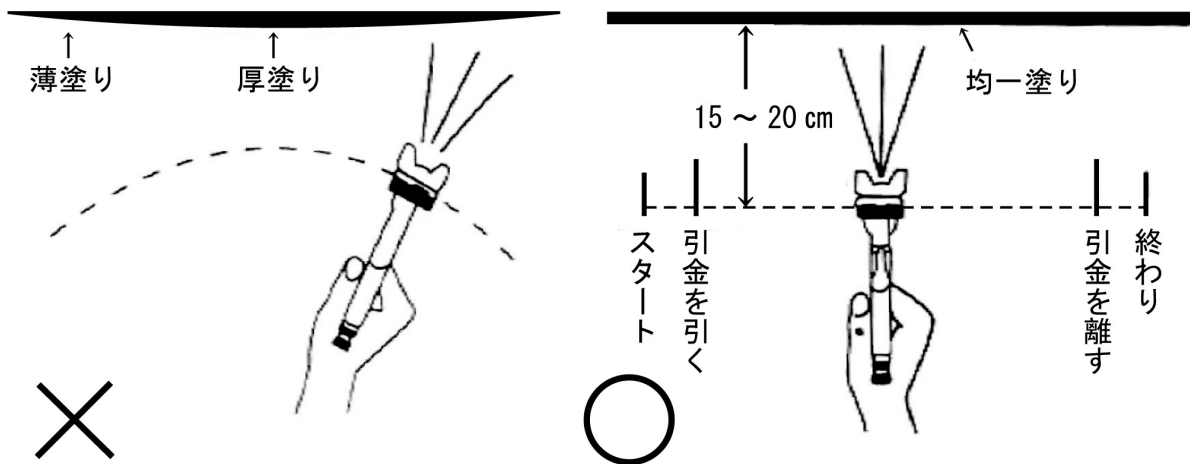
警告

● 作業前の準備

1. 点検し、破損や磨耗している部品は交換して下さい。
2. 引き金やノズルがスムーズに動くことを確認して下さい。
3. ガンをエアに接続し、キャップ、塗料容器類を締めて下さい、エアホースはしっかりと接続して下さい。
4. エア圧は塗料の特性や粘度に合わせて調整して下さい。適正圧力は3~5バール(kgf/cm²)の間を推奨します。
5. 塗料容器に塗料を入れて下さい。

● 塗装ガンの使い方

- ・適切に使っていただき最良の仕上がりを得て下さい。



1. ガンは垂直に構えて、塗装面に対して平行に動かして下さい。
2. 引き金はストロークを始めてから引いて下さい。又ストロークを止める前に引き金を戻して下さい。
3. ガンと塗装面の距離：仕上げ要求と噴霧圧により、ガンと塗装面は15~20cm離して使用して下さい。希望の仕上げパターンと塗料の出すぎを避けるために、低めの圧力で作業をお勧めします。

● 調節方法

パターンと吐出量と噴霧調整はパターン調整つまみ、エア調整つまみ、塗料調節つまみで調整できます。



● お手入れ

1. 残った塗料を別の容器に移し、塗料の通路とエアキャップを掃除します。通路を掃除する為に少量のシンナーをスプレーして下さい。掃除が不十分だと吹きむらやだまの原因になります。
2. 他の部分は付属のブラシや柔らかい布にシンナーを付けて掃除して下さい。
3. 取り外す前に塗料の通路を掃除して下さい。
4. ノズルを取り外す際はシート部を傷つけない為にニードルセットを外してから作業して下さい。



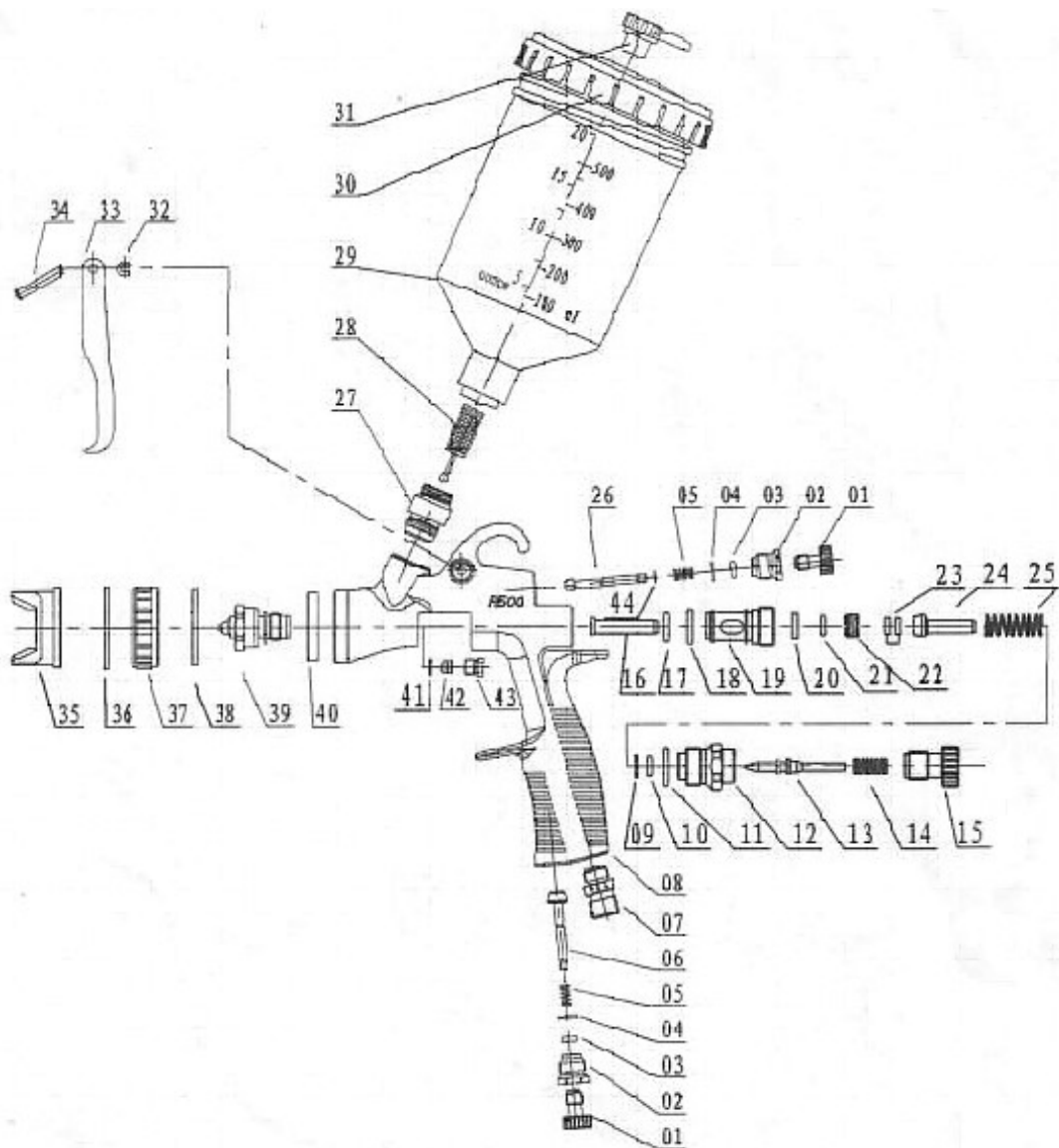
注意

1. 食品や化学薬品はスプレーしないで下さい。
2. 塗装ホースや塗料容器はしっかりと取り付けて下さい。
3. ノズルやニードルの掃除に固いワイヤーなどでほじくらないでください、重要部品を傷つける恐れがあります。
4. ガンをシンナー等の溶剤に沈めないで下さい。キャップやノズル、ニードルを損傷する恐れがあります。

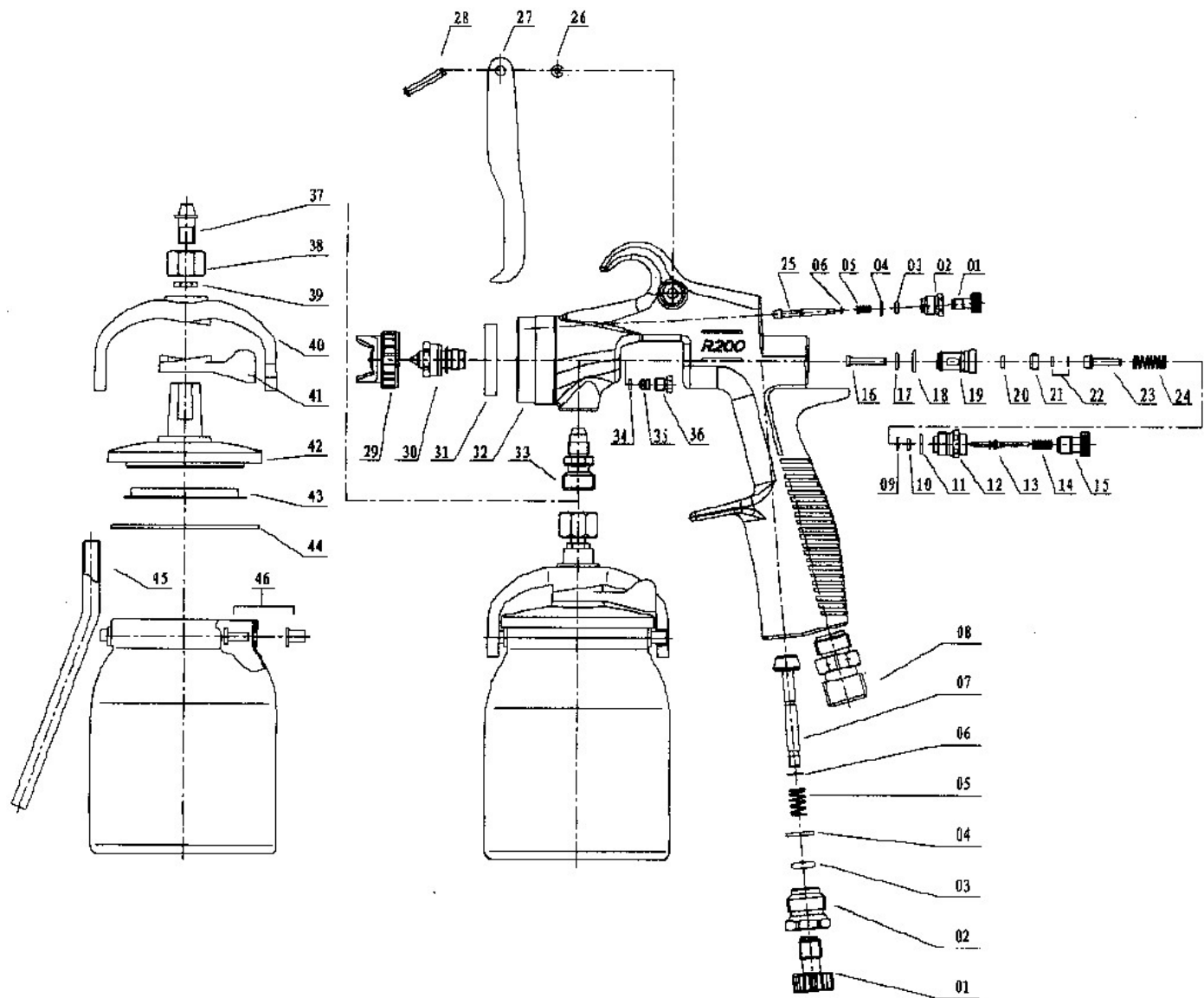
故障かな？と思ったら

<p>塗料がでない。 息継ぎしている。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 塗料レベルが下がっている。 2. カップが傾きすぎている。 3. 塗料ジョイントがゆるい。 4. 塗料ノズルチップシートがゆるい。 もしくは、破損している。 5. 塗料ニードルパッキン・ナットが 乾いているかゆるんでいる。 6. 空気穴が詰まっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 塗料を追加して下さい。 2. 立てて使って下さい。 3. 締めて下さい。 4. 調整、交換して下さい。 5. 潤滑して下さい。又は、締めて下さい。 6. 空気穴を通して下さい。
<p>パターンが弓形になる。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 塗料ノズルがゆるんでいる。摩耗して いる。 2. エアキャップに塗料が溜まっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 締める、もしくは交換して下さい。 2. エアキャップ穴の詰まりを取り除いて 下さい。その際、金属で穴を傷つけない 様に注意して下さい。
<p>パターンが不均一。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. エアキャップに塗料が溜まっている。 2. 塗料ノズルが汚れている。又は摩耗し ている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. エアキャップを掃除、又は交換して下 さい。 2. ノズルを掃除、又は交換して下さい。
<p>パターン中央が狭い。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 塗料の粘度が低すぎる。又は量が不足 している。 2. 空気圧が高すぎる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 塗料の粘度を調整して下さい。 2. 空気圧を下げして下さい。
<p>パターン幅の扇型が 不十分。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 塗料の粘度が高すぎる。 2. 空気圧が低すぎる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 塗料の粘度を調整して下さい。 2. 空気圧を上げて下さい。
<p>引金を引いていないのに エアキャップから空気 が出ている。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. エアバルブ軸が固着している。 2. エアバルブ又はバルブシート が汚損している。 3. エアバルブ・弁座に傷が付いている か摩耗している。 4. エアバルブバネが破損している。 5. 通気バルブ軸が曲がっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 潤滑して下さい。 2. 掃除して下さい。 3. 交換して下さい。 4. 交換して下さい。 5. 交換して下さい。
<p>塗料がパッキン・ナット から漏れている。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. パッキンナットがゆるんでいる。 2. パッキンが摩耗している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ナットを締めて下さい。但し、ニード ルの動きをさえぎらないで下さい。 2. 交換又は潤滑。(シリコンオイルは使わ ないで下さい。)
<p>飛散が多い。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空気圧が高すぎる。 2. 塗装面から遠すぎる。 3. ストロークが不適正。 ・パターンが弓形になる。 ・動かし方が早すぎる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空気圧を下げして下さい。 2. 適切な距離で塗装して下さい。 3. 塗装面と平行にゆっくり動かして下さい。
<p>スプレーしない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. エア圧力が来ていない。 2. 塗料調整が開いていない。 3. 塗料が重すぎる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. エア通路を調べて下さい。 2. 塗料調整を開いて下さい。 3. 塗料を希釈するか、加圧式に換えて下さ い。

EF-40(



No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名
1	エア調節ネジ	16	スイッチロッド	31	加圧ヘッド
2	エア調節ツマミ	17	Oリング	32	固定クリップ 3.0
3	Oリング 3.3×1.5	18	Oリング	33	引金
4	ワッシャー	19	ニードルハウジング	34	引金支点
5	エアバルブバネ	20	カバー座金	35	エアキャップ
6	エアバルブ軸	21	Oリング	36	塗料ワッシャー
7	エア接続ジョイント	22	ニードルハウジングネジ	37	丸ナット
8	ガンボディ	23	フォームワッシャー	38	座金
9	ワッシャー	24	バネ芯	39	ノズル
10	Oリング	25	スイッチバネ	40	内部リング
11	Oリング	26	霧化ニードル	41	ノズルフォームワッシャー
12	塗料調節ツマミネジ	27	塗料吸引ジョイント	42	シールワッシャー
13	塗料調節ニードル	28	フィルター	43	方向ネジ
14	塗料ニードルバネ	29	塗料カップ	44	固定クリップ 2.5
15	塗料調節ツマミ	30	カップ蓋		



No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名
1	エア調節ネジ	16	スイッチロッド	31	ガンボディワッシャー
2	エア調節ツマミ	17	Oリング	32	ガンボディ
3	Oリング 3.3×1.5	18	Oリング	33	塗料吸引ジョイント
4	ワッシャー	19	ニードルハウジング	34	ニードルフォームワッシャー
5	エアバルブバネ	20	カバー座金	35	シールワッシャー
6	固定ピン	21	ニードルハウジングネジ	36	方向ネジ
7	エア吸引バルブロッド	22	フォームワッシャー	37	塗料吸引ノズル
8	エア接続ジョイント	23	バネ芯	38	ジョイントナット
9	ワッシャー	24	スイッチバネ	39	薄型ナット
10	Oリング	25	塗料調節ニードル	40	ハングアーム
11	Oリング	26	固定ピン	41	ハンドル
12	塗料調節ネジ	27	引金	42	カップ蓋
13	塗料調節ニードル	28	引金支点	43	プレート
14	塗料ニードルバネ	29	エアキャップ	44	蓋ワッシャー
15	塗料調節ツマミ	30	ノズル	45	塗料ホース
				46	塗料カップ

エコファインガンの運転開始前に必ず下記空欄に
必要な事柄を記入してください。点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式	EF-400/200	ご使用開始年月日	
製造番号		ご購入先	TEL ()
ご購入年月日			

アフターサービスについて

保証規定

1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

<https://www.seiwa.com>

修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	携帯	090-3212-9902
群馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	携帯	080-1838-8248
東京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL	03-3638-6911
神奈川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	携帯	090-7404-1915
名古屋	453-0839	名古屋市中村区長茂町4-15	携帯	080-1838-8248
大阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	携帯	080-1838-8248
岡山	710-0841	倉敷市堀南606-1	携帯	090-8855-1690
福岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	携帯	090-8855-1690
エス・ディー ツール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	携帯	090-2515-0068
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	携帯	080-1794-4141